

## 第30回 全国街路事業コンクール応募資料

ふりがな 応募者名		よこはましどうろきょく 横浜市道路局
街路事業	ふりがな 事業の名称	よこはまこくさいこうとけんせつどうろじぎょう3・4・51ごうきしやなまむぎせん 横浜国際港都建設道路事業3・4・51号岸谷生麦線
	ふりがな 事業主体	よこはまし 横浜市
	ふりがな 実施都市名	よこはまし 横浜市
事業概要 (400字以内)		<p>本事業は、平成29年3月に開通した横浜北線に接続し、国道1号と都市計画道路東京大師横浜線を連絡する街路を整備したものである。本路線の整備により、国道1号並びに東京大師横浜線と横浜北線を結ぶアクセス道路として、都市内交通の円滑化を図ることができ、市街地の渋滞解消に寄与している。</p> <p>また、本路線は、JR東海道本線等の鉄道で分離されている国道1号と国道15号を接続する新たなネットワークを形成し、鉄道により分断された、鉄道両側地域の活性化に寄与するだけでなく、新たな緊急輸送道路や災害時の避難経路として利用することで、地域の防災力強化等も期待されている。</p> <p>なお、整備にあたっては、定期的に地元住民と対話会を開催し、工事進捗の説明だけでなく、地域の課題解決のための取り組みを実施するとともに、横浜環状線景観アドバイザー会議の中で土木構造物と周辺環境が調和した景観・色彩の検討や高架下緑地を実施した。</p>
事業規模		<p>○事業延長:L=1,200m</p> <p>○事業費:25,355百万円</p> <p>○幅員:W=17m</p> <p>○事業期間:平成13年～平成30年</p>
事業の目的		本事業は、横浜北線の出入口の一つである岸谷生麦出入口へのアクセス向上と新たな道路ネットワークの形成による地域の連絡強化を目的としている。
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道1号と国道15号の接続による新たな道路ネットワークの形成と、それに伴う周辺道路の交通量・渋滞長の減少→将来的な温室効果ガス排出量の減少が期待</li> <li>・緊急輸送路が通行止めとなった場合の代替路線の確保</li> <li>・自転車歩行者道の整備(安全・安心な歩行空間の確保、浸水被害区域への新たな避難路の整備)</li> <li>・隣接企業との協働による、高架下を活用した新たな緑地の整備</li> <li>・横浜北線開通に伴う、市北部と京浜臨海部のアクセス向上(横浜港、羽田空港への所要時間の短縮と定時性の確保、観光需要の増加等、輸送時間減少による貨物輸送量の増加)</li> </ul>
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋移転を最小限にするために、横浜北線と一体整備を行い形状のコンパクト化を行うとともに、橋梁・トンネル構造を採用した。</li> <li>・対話会を開催し、地域の課題解決を図った。</li> <li>・遮音壁や裏面吸音板設置による環境への配慮、歩道部への投石防止柵の設置による安全の確保</li> <li>・隣接企業との協働による高架下緑地の整備(新たな緑の創出。敷地外緑地制度利用による整備→整備費、維持管理費の縮減)</li> <li>・生麦事件碑の設置や健康みちづくり推進事業との連携による歴史との共存と地区の魅力アップの推進</li> </ul>

# 完成全景



平成29年6月撮影

## 横浜北線と一体となった広域的幹線道路ネットワークの形成による 生産性向上 と 災害対応力向上

岸谷生麦線交通量  
12,000台/日

横浜北線交通量  
16,000台/日

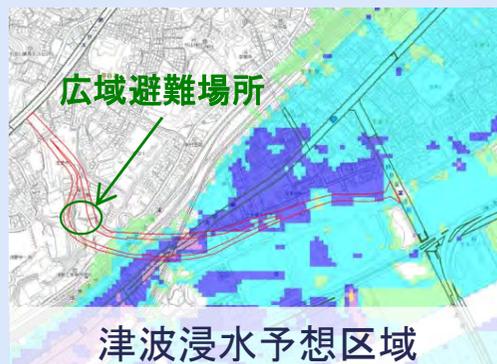
岸谷生麦線、横浜北線開通  
前後で移動時間12分短縮



国道15号大黒町入口交差点  
渋滞長720m減少  
交通量3,000台/日減少



災害発生時、開かずの踏切を通らず、避難が可能な歩行ルートを整備



災害時の多重化（リダンダンシー）による災害対応力の向上

- ・ルートの多重化
- ・国道1号と15号を結ぶ新たなルート（交差点間隔3.6km→2.0km）



国道を結ぶ新たなルート

## 企業との連携による **グリーンインフラの創出** (高架下に1.8haの緑地を整備)

隣接するキリンビール（株）横浜工場が、緑地の整備と質の高い維持管理を実施。一般にも開放され、緑が少ない臨海部に貴重な緑地が創出された。



## 大規模にならざるを得ない構造物の影響を軽減するための **細部への配慮**



橋桁と橋脚を剛構造にするとともに、橋脚の面取りを行うことで、圧迫感を軽減

トンネル坑門の形状（竹割式）や緑化ブロックの採用、歩車道間に遮音壁設置、高欄と投物防止版の一体化など細部の仕上げにも配慮



限られた施工ヤード、施工時間の中で工事を実施（鉄道10本、市道、国道を跨ぐ橋梁を架設）架設時間は夜間約2時間

# 事業前写真



首都高速横羽線、大黒線のみで、内陸部と臨海部を結ぶ高速道路及び幹線道路が未整備であった:平成19年1月撮影

岸谷生麦線整備前、内陸部から臨海部につながる国道1号は、ピーク時渋滞長が約200m:平成16年11月撮影



内陸部から臨海部は、鉄道によって分断されており、前後3.5kmの3か所の踏切は全てピーク時40分以上遮断される開かずの踏切:平成25年撮影

内陸部から臨海部は、鉄道によって分断されており、前後3.5kmの3か所の踏切は全てピーク時40分以上遮断される開かずの踏切:平成25年撮影

# 事業後写真



平成29年6月撮影



平成29年11月撮影

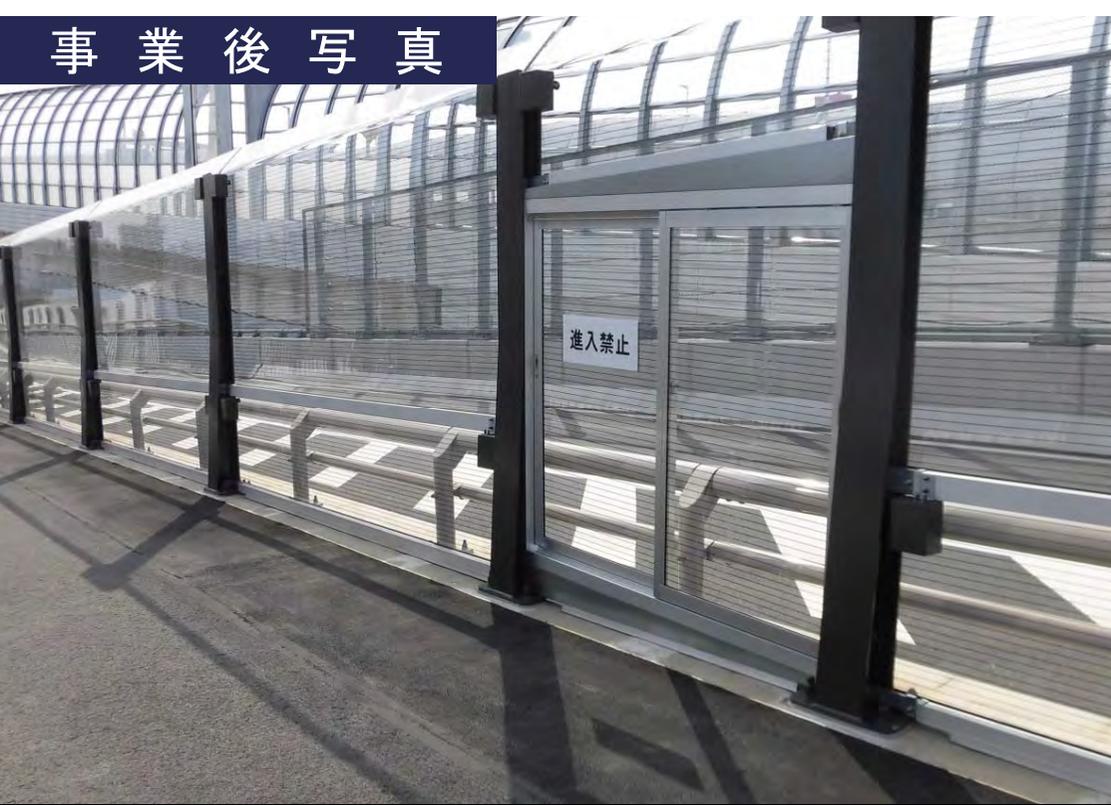


平成30年3月撮影



平成29年11月撮影

# 事業後写真



平成30年2月撮影



平成30年3月撮影





岸谷生麦線整備にあわせて移設した生麦事件碑を利用した、鶴見区主催のウォーキングイベント（約1,500名参加）



平成29年11月撮影



# 川崎・鶴見 旧東海道ウォーク

今年も川崎・鶴見で共同開催!!  
川崎・鶴見の旧東海道と周辺を歩いて楽しもう!

## 11月11日(土) 9:00~16:00

雨天決行

参加費 無料

**スタート スタンプ帳配布場所** [受付] 9:00~14:00

- 川崎 京浜急行鶴見駅、JR川崎駅東口広場(坂本九さんの墓前)
- 鶴見 JR鶴見駅東口広場

**ゴール 記念品引換所** [受付] 16:00まで

- 川崎 京浜急行鶴見駅、八丁堀駅前(無縁塚)
- 鶴見 生麦事件碑そば(岸谷生麦線高架下緑地)  
(最寄駅 京浜急行生麦駅)

■スタンプポイント...合計4ポイントで記念品プレゼント! 全21ポイントでオリジナルでぬいぐるみプレゼント!  
■歴史クイズand体験チャレンジ...歴史脚製(一部ポイント)健康体操(川崎駅、生麦小)・妻むら子工組ハガキ作成(無縁塚)など  
■飲食サービス...スタンプ帳掲載店舗にて、お得なサービスがうけられます。

○詳細はホームページをチェック! 川崎・鶴見旧東海道ウォーク

[主催・問い合わせ]  
実行委員会 2023・川崎市川崎区役所地域課 電話 044-201-3136 FAX 044-201-3209  
横浜市鶴見区役所地域課 電話 045-510-1677 FAX 045-504-7102  
[協賛] 川崎区 鶴見区 川崎区民会館 鶴見区民会館

90周年 鶴見区民会館 90周年記念イベント



生麦の発殺 (横浜市中心図書館所蔵)